

4歳児 森組

一学期が始まって、一ヶ月が経ちました。森組の子どもたちは、自分のクラス、友達、先生が分かり、年中の生活にも慣れてきた様子です。最初は緊張していた子どもたちも、だんだん声が大きくなってきて、表情も随分柔らかくなってきました。年長のおにいさん、おねえさんに教えてもらっていた靴包みも、自分たちで頑張り始めました。片手で押さえながらもう片方の手で包むことや、テープを貼る向きなどに苦戦しながらも、一生懸命に頑張っています。

好きな遊びの中で出会った友達の名前を呼んだり、午前中に一緒に遊んだ友達と同じ机で食べることを楽しんだりする姿も見られ、いろいろな友達と過ごすことを楽しんでいます。一方で、砂遊びや色水遊びなどを一人でじっくり楽しみ、「ふしぎだな」「おもしろいな」と感じたことを繰り返す姿も見られます。どちらの姿も今の時期の子どもたちにとっては大切な姿であると捉え、子どもたちが、遊びや友達との関わりを存分に楽しめるように支えていきたいと思っています。

ローラーと絵の具を使って、こいのぼりの模様をつくりました。



「こどもの日のあつまいをしたよ！」



つなごうよ つなごうよ
手と手と手と手と
つなごうよ♪

靴包みと同じ包み方で新聞紙を画用紙で包んでイチゴをつくりました。



新聞を丸めて丸めて...

「砂場で裸足になって遊んだよ！」



川ができてきた



「自然物を使って遊ぼう」



お花を入れて...
お水を入れて...



ちっちゃいブドウ(クワの実)、
2人でこんなに集めてん